

みずほCustomer Desk Report 2024/04/05号(As of 2024/04/04)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	151.70
TKY 9:00AM	151.58	1.0838	164.26	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	151.77	1.0876	164.92	1.2652	0.6568
SYD-NY Low	151.13	1.0832	163.80	1.2683	0.6619
NY 5:00 PM	151.35	1.0837	164.01	1.2636	0.6562
				1.2643	0.6588
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,596.98	▲ 530.16	日本2年債	0.1900%	0.0000%
NASDAQ	16,049.08	▲ 228.38	日本10年債	0.7700%	0.0100%
S&P	5,147.21	▲ 64.28	米国2年債	4.6443%	▲0.0270%
日経平均	39,773.14	321.29	米国5年債	4.2918%	▲0.0379%
TOPIX	2,732.00	25.49	米国10年債	4.3064%	▲0.0438%
シカゴ日経先物	39,160.00	▲ 905.00	独10年債	2.3580%	▲0.0400%
ロンドンFT	7,975.89	38.45	英10年債	4.0170%	▲0.0390%
DAX	18,403.13	35.41	豪10年債	4.1700%	0.0250%
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	7.75%	0.17%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	8.08%	0.11%
NY金	2,308.50	▲ 6.50	USDJPY 6M Vol	8.32%	▲0.01%
WTI	86.59	1.16	USDJPY 1M 25RR	▲1.49%	Yen Call Over
CRB指数	296.34	1.14	EURJPY 3M Vol	7.88%	0.16%
ドルインデックス	104.12	▲ 0.13	EURJPY 6M Vol	8.29%	0.08%

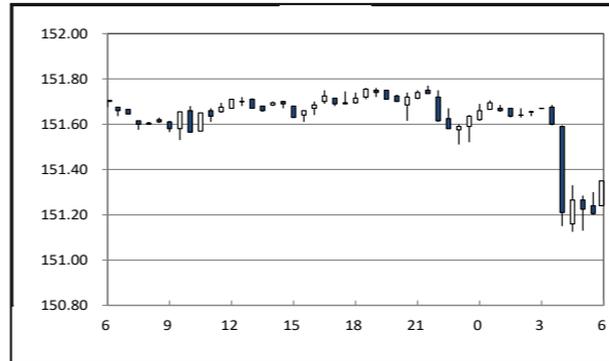
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月4日	16:55	独 PMI・確報サービス/コンポジット	3月 50.1/47.7	49.8/47.4
	17:00	欧 PMI・確報サービス/コンポジット	3月 51.5/50.3	51.1/49.9
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	2月 -1%/-8.3%	-0.7%/-8.6%
	20:30	欧 ECB議事要旨	利下げを検討する根拠は強まっている	
	21:30	米 貿易収支	2月 -\$68.9b	-\$67.6b
	21:30	米 新規失業保険申請件数	30-Mar 221k	214k

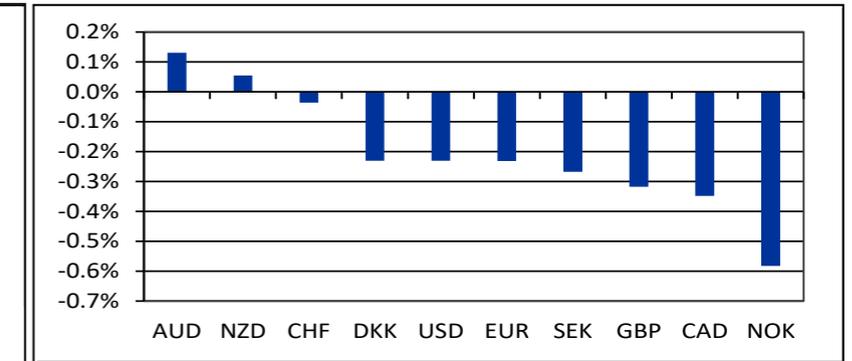
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月5日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	3月 214k	275k
	21:30	米 失業率	3月 3.8%	3.9%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	3月 0.3%/4.1%	0.1%/4.3%
4月6日	00:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	01:30	米 ローガン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
		米 ボウマンECB理事 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	150.90-152.10	1.0780-1.0880	163.20-164.60

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は、日本時間では151円台後半での狭いレンジでの推移となった。米国時間は、FRB高官からタカ派発言が相次ぐも、中東情勢悪化への懸念からリスクオフの円買いとなり一時151.13の安値を付けた。本日のドル円相場は引き続き151円台でのレンジ推移を予想する。昨日の中東情勢に関する報道を受け米金利が低下しており、ドル円は上値重い展開となりそう。加えて、日銀植田総裁の追加利上げに対する考えを表明した報道も上値を抑える要因となりそう。ただし、米雇用統計の発表が予定されており様子見の相場となりやすく、結果として151円台での推移になる。

東京	東京時間ドル/円は151.58レベルでオープン。地域経済報告の公表や鈴木財務相からの為替市場について「高い関心を持って注意深く見ている」との発言などがあったものの、特段材料視されることはなく、東京時間を通して狭いレンジでの推移となり、151.67レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、151.67レベルでオープン。ドルは全般的に弱含みだったものの15銭程度の値幅で小動きし151.75でNYに渡った。本日、ポーランド中銀とルーマニア中銀が政策決定をし、いずれも予想通りの金利据置きとなった。それぞれの通貨スワップレイトはいずれも決定後やや強含んだ。
ニューヨーク	海外市場のドル円は151円台後半でスタート。米金利の上昇する展開がドル円の下値を支え、151.75でNYオープン。オープン直後は日中高値の151.77を付けるも、続いて発表された米2月貿易収支と新規失業保険申請件数の結果が共に予想悪化した事が嫌気され、151.50付近まで売られる。しかし、その後は低下していた米金利が再度上昇する展開を受け、151.70付近まで買い戻される。午後は中東情勢の緊迫化から、リスクオフの円買いが進み、一時151.13まで下落する。その後は小幅反発し、151.35でクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。独金利の上昇や、独3月HCOB・サービス業PMIが上方修正された事を受け、1.0866まで上昇。しかし、その後発表されたECB3月理事会の議事録にて、「理事会メンバーは、インフレ率が適時に目標とする2%に向けて持続的に低下する軌道に乗っているとの確信を強めた」との文言が示され、近い将来に利下げが行われる可能性がある事から一転売りが優勢となり、1.0853でNYオープン。午前中は1.0877まで上昇する場面も見られたが、その後は米金利が低下幅を縮小させる動きを受け伸び悩み、1.0860付近まで反落。午後は中東情勢不安を背景としたドル買い地合いから、1.0832まで一段と下落し、その後1.0837でクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。